

難治性遺伝性疾患の網羅的ゲノム解析と これからの難病ゲノム医療



講師

要 匡 先生

国立成育医療研究センター
ゲノム医療研究部

日付：12月9日（金）

時間：16時35分～18時05分

場所：E203 教室

講演概要

網羅的ゲノム解析を活用するゲノム医療・ゲノム研究は、米国 Precision Medicine Initiative（現在100万人ゲノム計画）、英国10万人全ゲノム計画（現在100万人—500万人計画）など世界的潮流となっている。その対象は、主にがんと希少疾患（わが国での希少・難病）であり、希少・難病に対する網羅的ゲノム解析は、原因解明、診断など、当該患者への恩恵ばかりでなく、ありふれた疾患の治療、生命現象の理解にも大きく貢献している。一方、現在のゲノム解析での問題点が明らかとなり、その解決も重要なテーマとなっている。

本講演では、演者も参画している、網羅的難病ゲノム解析を行うわが国の大型研究の一つ、希少・未診断疾患イニシアチブ（IRUD）について、実績などを中心に紹介する。また、現在の問題点とその解決に向けた取り組みについて述べる。これらを踏まえ、難病ゲノム医療の実現へ向けた今後について考察したい。

問い合わせ先

伊藤和義：kazuyoshi★soka.ac.jp

研究所HP：<https://www.soka.ac.jp/glycan/>

メールアドレスの★を半角@に変えてください

